

セーリング・ボートは「風」で走る。

極めて当たり前のことなのだが、これがなかなか奥が深い。

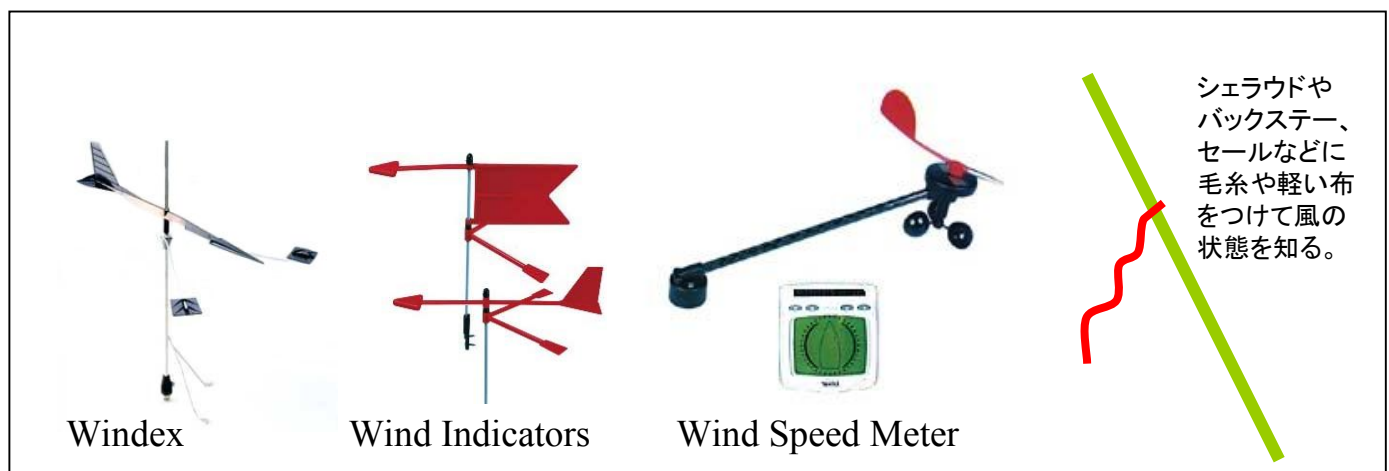
セーリング・ボートを志しヨットマンとして認めてもらいたい者は、モーターボートのように機走のみの機能に基づく船の知識・技量の上に無限といえるセーリングに関するデータベースを構築していかななければならない。

ここでの記述は極めて基本的な内容である。

地表面で自分が動いていないときに感じる風を「True Wind」(真の風)という。

観測者が動いているときに感じる風は真の風に対して相対的なものとなり、これを「Apparent Wind」(みかけの風)という。

セーリングではみかけの風がセールトリムなどの対象となる。



ウインドインディケーターによって、船とみかけの風の相対的な関係を知ることができる。

同時に、ウインドインディケーターはセールトリムの際のリファレンスとして役立つ。

インディケーターの矢頭の部分は常に風の吹いてくる方向をしめす。

ただし、微風の場合には船の動揺(波などによる)によってクルクル変化する。